

パリオリンピックで、本校卒業生の永野雄大選手がフェンシング男子フルーレ団体で金メダルを獲得したことで大きく沸いた夏休みが終わり、2学期が始まって約2か月。大きな事故もなく、様々な行事が行われています。西門脇には、永野雄大選手の偉業を称えて横断幕が張られています。

永野雄大選手には、昨年度、卒業生として「浜田小学校創立150周年記念誌」に寄稿していただきました。題名は『挑戦することの大切さ』です。

「何回チャレンジしてもうまくいかなくてどれだけ辛くても、考えることをやめずに踏ん張っていればどこかでチャンスはきます。挑戦することを諦めてしまうと、すぐ届いたはずのチャンスに手が届かなくなってしまいます。どんな小さなことでもいいので挑戦してみてください。」

このように書かれていました。団体のリザーブとしての登録で、食事など他の選手とは異なる中での大活躍。まさに寄稿文の中の言葉と重なりました。オリンピックでの大活躍、おめでとうございます！



## 子ども灯籠流しが行われました！

8月18日(日)、希望者による「子ども灯籠流し」が行われました。当初16日(金)に予定していましたが、台風の影響を考慮して、延期して18日に実施することとなりました。台風のことを考えて、提灯等は事前に外したため、飾り付けなどちょっとさびしくなりましたが、時間になると子どもたちが各々自作の灯籠を持ち寄り始め、93名の参加となりました。前半の部では、風も心地よく吹いていたため、灯籠はスムーズに流れていきましたが、後半の部では風がほとんどなくなり、灯籠を流すのにひと苦労しました。中学生や高校生になった卒業生も手伝いに来て、灯籠を流してくれました。

初めて参加する1年生には、7月16日(火)、歴史・自然プロジェクト委員会の委員に灯籠の作り方を教えてもらいました。1年生は戸惑いながらも、灯籠に絵を描いたり、灯籠を組み立てたりして、楽しみながらも予定していた時間内で製作することができました。

また、今年は上大野小学校の子どもたちも一緒に参加しました。昼過ぎに上大野市民センターに集まり、歴史・自然プロジェクト委員会の委員を講師に、約20名の子どもたちが灯籠を製作し、備前堀にやってきました。流し終えた後、「おもしろい行事だったね」「来年もまたやってみりたいな。」という声が聞かれ、来年も参加することを楽しみにしているようでした。



## 奉仕作業が行われ、校庭がきれいに！



9月12日(木)には奉仕作業が行われました。大変暑い中でしたが、保護者の方57名に加え、地域学校協働活動協力員の方5名にも参加していただきました。10月に校庭で行われる市民運動会に向けて、除草作業をしていただき、教職員や子どもたちだけでは、なかなかできないところまできれいにしていただきました。本当にありがとうございました。



## 「福寿の集い」に6年生が参加

9月15日(日)、竹隈市民センターで毎年恒例の「福寿の集い」が開かれました。浜田小学校から6年生が2名参加し、作文を発表しました。



### 【作文発表その1】

地域のおじいちゃん、おばあちゃん、いつもぼくたちの登下校を見守ってくださりありがとうございます。おかげで安心して学校に通うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。……(中略)……ぼくたちに、いろいろな教えを導いてくれるおじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも長生きしてください。

### 【作文発表その2】

地域のおじいさん、おばあさん、いつもお世話になっています。今日は、私の尊敬するおじいちゃんについて話します。おじいちゃんは、博識で、私が経験していないことをたくさん教えてくれました。…(中略)…自分が知らなかったことを知るきっかけをつくってくれたのは、まぎれもなくおじいちゃんのおかげだと思います。おじいちゃんは、今年の春に亡くなってしまいました。…(中略)…おじいちゃんが伝えてくれた、語り継がれるべき過去の出来事を、これからも沢山のの人に伝えていきたいです。

## 5年生の宿泊学習が無事終了!

9月18日(水)、19日(木)と5年生が水戸市少年自然の家で宿泊学習を実施しました。1日目はカレーライスづくりに焼き杉、キャンプファイヤーなどを行いました。30℃を越える気温の中で、休憩をとりながら、普段できない活動をしました。2日目はウォークラリーです。見慣れない地図を頼りにあっちこっちと地図を頼りに目的ポイントを探します。グループで協力しながらなんとかゴール! 宿泊学習を終えて学校に帰ってきた5年生の表情がなんとなく頼もしくなった気がしました。



## 《ハミングロードハロウィンのお知らせ》10月29日(火)に実施予定

(前半) 9:00~こども園・2年生・4年生・6年生 (後半) 9:55~1年生・3年生・5年生

## 《ハミングロードマラソン大会のお知らせ》11月10日(日)に実施予定

マラソン大会実施につき、ハミングロードは午前中、車両通行止めとなります。ご協力をお願いいたします。

## 《追悼・伊藤瓢堂先生を偲んで…》

第45代校長 小林 宏次



7月21日、浜田小学校で17年にわたり「作陶教室」を開催していただいた伊藤瓢堂先生がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

私が瓢堂先生と初めてお会いしたのは、教頭時代の平成24年のことでした。それ以来、折に触れ、飲食を共にし、様々な議論を交わしてきました。印象に残っているのは、「もし自分の力が必要ないと思ったら、いつでもこの教室をやめてくれ。」という先生の言葉でした。そして、議論の中では、「いかにしたら浜田小の子供たちを伝統と文化を大切に、個性ある人に育てられるか。浜田小の先生たちをどう育てていったらよいか。」ということがいつも話題に挙がっていました。「徳川斉昭の心、和の心をみんなに伝えたい。礼節とは何か。感謝の心とはどういうことか。相手を思いやるということとはどういうことか。」常々話していました。

昨年末、先生が重い病に侵されているということを聞き、6年生のお茶会は無理だと思った時でも、「浜田の子供たちのために、浜田の先生たちのために水戸に行く」ということを念じて来ていただきました。正直、これが最後になるかとも思いながら……。そして、18年目。「水戸に来る」と聞いた時に手紙を書きました。「無理をしないでください。」と。ところが、食事も通常どおりとれない中、6月20日に現在の6年生のために作陶教室を開いていただきました。この日は昼食を共にとった後、部屋を出る時に、私の手を取り、小さな声で「あとをお願いしますよ。」と。この時の様子は忘れることはできません。

葬儀の時、会場には多くの地元の名士の方々から弔電や生花が飾られていました。先生の存在が大きすぎて、これから先、どう子供たちに先生の思いを伝えていったらよいか不安だらけの日々を送っています。